

平成26年1月20日

会報12号

子どもも教師も育つ

社会科を語る会(教育実践会)
富士第一小学校久保田文章

東海研究集会富士大会へのご支援感謝いたします。

過日の東海研究集会富士大会に、130名を超える多数の方々に参加してくださり、誠にありがとうございました。ひとえに富士市教育委員会や各学校の校長先生方などのご支援のおかげだと思っております。

参加者の感想の一部を紹介します。

久しぶりに、授業記録をもとに丁寧に子どもの背景にある思いを汲んでいく研修に参加させていただきました。いい学びの刺激をいただきありがとうございます。提案してくださった佐野先生には、若いのにとってもすばらしい実践と資料をいただきありがたかったです。

深い子ども理解の機会になりました。クラスの子も達を見つめ直したいです。

「個を見とる」方法や考え方、授業記録の見方など勉強になりました。

分からなかったところを丁寧に教えていただき、今日はとてもスッキリした気持ちです。25歳の先生が座席表指導案を用いての授業ということで「私も頑張らなくては！」と更にやる気が出てきました。私のつたない発言に対しても「うんうん」とにこやかに先生が聞いてくださりうれしかったです。

私自身が長い時間をかけてようやく気付いたことを、わずかな時間で分析した参加者の先生方のすごさを改めて感じました。その気づきを共有できてうれしかったです。

実践記録から読み取っていくという形で考えさせていただくことが初めてで、とても新鮮でした。子ども達の発言の中から多くのことを読み取ることができるのだなと感じました。また、授業者の先生のこの授業では、この子を生かしたいという思いをとっても感じました。同じ年代の若い先生の実践ということでとても刺激を受けました。略

子どもの見取りの仕方、授業記録からの洞察力、授業の展開や単元構想の作り方などたくさんのことを学ばせていただきました。子どもの思いを大切に教材研究をし、子どもと共に学んでいけるように努めていきたいと思いました。

文責 影山